

# 環境に配慮し、地元貢献していきたい

平成27年度全国優良畜産経営管理技術発表会  
最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞

## 遠藤 勝哉 さん

インドウ・カツヤ 38歳



昭和52年生まれ。平成22年に養豚業を営む(有)コマクサファームの社長に就任。中央畜産会主催の全国優良畜産経営管理技術発表会(27年11月12日開催)で、同社の「マルチサイトシステム」が最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。A型のおうし座

「賞を目指して経営しているわけではないので、実感はあまりないですね」と、笑顔を浮かべるのは、全国優良畜産経営管理技術発表会で、最優秀賞を受賞した(有)コマクサファームの遠藤勝哉社長。

豚ふん堆肥の無償提供、地域農家からの飼料米購入など資源循環型農業にも力を入れており、「環境に配慮し、地域振興を進めながら地元の皆さんと共に成長していきたいです」と、地元への貢献を誓います。

受賞したのは、同社が取り組む「マルチサイトシステム」。このシステムは、豚の成長に合わせて、農場を分散させることにより、飼育の効率化、疫病リスクの低減を図るものです。遠藤さんは「北米では一般的な経営方法。アメリカの大学に留学していた経験を生かし、システムを導入しました。加えて、生産と経営のデータベースを作成し、しっかりとした数字で管理もしています」と、自社の経営に自信をのぞかせます。

自身もスキー選手として大会に出場する遠藤さんは「国体は八幡平市を全国にPRする絶好の機会。関係機関の皆さんと協力して大会を盛り上げていきたいです」と、希望郷いわて国体への意欲も燃やしていました。

同社では、市内農家への



県民体育大会ジャイアントスラローム競技に挑む遠藤さん(1月15日)

### 今月の表紙 掛け声合わせ ペったんこ

寺田・平館・東大更・平笠4学童保育クラブの児童約60人が、1月8日、正月行事を体験しました。

児童たちは、雪国の伝統行事で今年の豊作を願う雪中田植えや臼ときねを使った餅つきや福笑い、めんこ遊びを体験。児童のほとんどが初体験といい、同クラブのスタッフや地域住民から手ほどきを受けながら、寒さを忘れるほど夢中になって楽しみました。



積もった雪に稲わらを差していく子どもたち

### 編集後記

スキー大会にスノーバスターズの取材など、冬ならではのイベントに足を運ぶと、やはり寒さが身にしみます。自分では防寒対策バッチリのつもりが、取材先で周囲の人に「これでは足りない」と言われ、その場で着用するものをお借りすることも。ご心配をお掛けし、申し訳ないと思いつつも皆さまの温かさに甘えさせてもらっています。▽しかしながらこの頃、0度という表示を見ると、今日は暖かいほうだなと思える自分は立派な東北人!?

②沙